

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成27年8月20日 (2015.8.20)

【公開番号】特開2013-127771(P2013-127771A)  
 【公開日】平成25年6月27日 (2013.6.27)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-034  
 【出願番号】特願2012-167511(P2012-167511)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/12 D

G 0 6 F 3/12 K

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月29日 (2015.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

管理装置と通信可能に接続された周辺装置であって、  
前記管理装置に前記周辺装置が取得すべき情報があるか否かを確認する際に用いる確認情報については暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に送信し、前記確認情報とは異なる印刷ジョブを取得するための取得情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する通信手段を有することを特徴とする周辺装置。

【請求項 2】

前記通信手段は、前記取得情報に応答して前記管理装置から送信された前記印刷ジョブの処理が終了すると、前記印刷ジョブの処理が終了したことを示す終了情報について暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信することを特徴とする請求項 1 記載の周辺装置。

【請求項 3】

前記通信手段は、定期的に、前記確認情報を前記管理装置に送信することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の周辺装置。

【請求項 4】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの処理を実行する周辺装置と通信可能に接続された情報処理装置であって、

前記サービスにおけるジョブの情報を記憶部に記憶する記憶手段と、

前記サービスでの一連の処理において、前記記憶部にジョブの情報が記憶されているか否かを確認する前記周辺装置からの確認情報に対する応答情報については暗号化を行わない通信方式で前記周辺装置に送信し、前記確認情報とは異なる前記周辺装置からの他の情報に対する応答情報については暗号化を行う通信方式で前記周辺装置に送信する通信手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 5】

前記通信手段は、前記確認情報に対する応答情報については予め定められた演算を行い

、演算した結果を暗号化しない通信方式で前記周辺装置に送信することを特徴とする請求項 4 記載の情報処理装置。

【請求項 6】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの処理の前処理を行う前処理装置と通信可能に接続された情報処理装置であって、

前記サービスでの一連の処理において、前記前処理装置が行う前処理の実行の状況を確認する際に用いる確認情報については暗号化を行わない通信方式で前記前処理装置に送信し、前記確認情報とは異なる他の情報については暗号化を行う通信方式で前記前処理装置に送信する通信手段を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

前記ジョブの処理を実行する周辺装置と通信可能に接続され、  
前記通信手段は、

前記提供装置から前記ジョブの情報を受信すると、前記ジョブの情報をもとに生成する前記他の情報である前記前処理で用いられる前処理情報について暗号化を行う通信方式で前記前処理装置に送信し、

前記ジョブの処理が終了したこと示す終了情報を前記周辺装置から受信すると、前記他の情報である前記終了情報をもとに生成するジョブ処理終了情報について暗号化を行う通信方式で前記前処理装置に送信することを特徴とする請求項 6 記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記通信手段は、前記確認情報に対する前記前処理装置からの応答情報をもとに、前記前処理が終了したと判断した場合、前記他の情報である、前記前処理の結果の所在を示す情報の取得に用いる所在取得情報について暗号化を行う通信方式で前記前処理装置に送信することを特徴とする請求項 6 又は 7 記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記通信手段は、前記前処理装置から前記前処理を開始したことを示す情報を受信してから前記確認情報に対する前記前処理装置からの応答情報をもとに前記前処理が終了したと判断するまでの間、前記確認情報を前記前処理装置に送信することを特徴とする請求項 6 乃至 8 の何れか 1 項記載の情報処理装置。

【請求項 10】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの情報を管理する管理装置と通信可能に接続された情報処理装置であって、

前記サービスにおけるジョブの処理の前処理を行う前処理手段と、

前記前処理の実行の状況を示す情報を記憶部に記憶する記憶手段と、

前記サービスでの一連の処理において、前記前処理の実行の状況を確認する前記管理装置からの確認情報に対する応答情報については暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に送信し、前記管理装置からの前記確認情報とは異なる他の情報に対する応答情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する通信手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 11】

前記通信手段は、前記確認情報に対する応答情報については予め定められた演算を行い、演算した結果を暗号化しない通信方式で前記管理装置に送信することを特徴とする請求項 10 記載の情報処理装置。

【請求項 12】

管理装置と通信可能に接続された周辺装置が実行する通信制御方法であって、

前記管理装置に前記周辺装置が取得すべき情報があるか否かを確認する際に用いる確認情報については暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に送信する工程と、

前記確認情報とは異なる印刷ジョブを取得するための取得情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する工程と、を含むことを特徴とする通信制御方法。

【請求項 13】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの処理を実行

する周辺装置と通信可能に接続された情報処理装置が実行する通信制御方法であって、  
前記サービスにおけるジョブの情報を記憶部に記憶する記憶工程と、

前記サービスでの一連の処理において、前記記憶部にジョブの情報が記憶されているか否かを確認する前記周辺装置からの確認情報に対する応答情報については暗号化を行わない通信方式で前記周辺装置に送信する工程と、

前記サービスでの一連の処理において、前記確認情報とは異なる前記周辺装置からの他の情報に対する応答情報については暗号化を行う通信方式で前記周辺装置に送信する工程と、を含むことを特徴とする通信制御方法。

【請求項 14】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの処理の前処理を行う前処理装置と通信可能に接続された情報処理装置が実行する通信制御方法であって、

前記サービスでの一連の処理において、前記前処理装置が行う前処理の実行の状況を確認する際に用いる確認情報については暗号化を行わない通信方式で前記前処理装置に送信する工程と、

前記サービスでの一連の処理において、前記確認情報とは異なる他の情報については暗号化を行う通信方式で前記前処理装置に送信する工程と、を含むことを特徴とする通信制御方法。

【請求項 15】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの情報を管理する管理装置と通信可能に接続された情報処理装置が実行する通信制御方法であって、

前記サービスにおけるジョブの処理の前処理を行う前処理工程と、

前記前処理の実行の状況を示す情報を記憶部に記憶する記憶工程と、

前記サービスでの一連の処理において、前記前処理の実行の状況を確認する前記管理装置からの確認情報に対する応答情報については暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に送信する工程と、

前記サービスでの一連の処理において、前記管理装置からの前記確認情報とは異なる他の情報に対する応答情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する工程と、を含むことを特徴とする通信制御方法。

【請求項 16】

管理装置と通信可能に接続されたコンピュータを、

前記管理装置に前記コンピュータが取得すべき情報があるか否かを確認する際に用いる確認情報については暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に送信し、前記確認情報とは異なる印刷ジョブを取得するための取得情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する通信手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 17】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの処理を実行する周辺装置と通信可能に接続されたコンピュータを、

前記サービスにおけるジョブの情報を記憶部に記憶する記憶手段と、

前記サービスでの一連の処理において、前記記憶部にジョブの情報が記憶されているか否かを確認する前記周辺装置からの確認情報に対する応答情報については暗号化を行わない通信方式で前記周辺装置に送信し、前記確認情報とは異なる前記周辺装置からの他の情報に対する応答情報については暗号化を行う通信方式で前記周辺装置に送信する通信手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 18】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの処理の前処理を行う前処理装置と通信可能に接続されたコンピュータを、

前記サービスでの一連の処理において、前記前処理装置が行う前処理の実行の状況を確認する際に用いる確認情報については暗号化を行わない通信方式で前記前処理装置に送信し、前記確認情報とは異なる他の情報については暗号化を行う通信方式で前記前処理装置

に送信する通信手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 19】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの情報を管理する管理装置と通信可能に接続されたコンピュータを、

前記サービスにおけるジョブの処理の前処理を行う前処理手段と、

前記前処理の実行の状況を示す情報を記憶部に記憶する記憶手段と、

前記サービスでの一連の処理において、前記前処理の実行の状況を確認する前記管理装置からの確認情報に対する応答情報については暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に送信し、前記管理装置からの前記確認情報とは異なる他の情報に対する応答情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する通信手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 20】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの情報を管理する管理装置と通信可能に接続され、前記ジョブの処理を実行する周辺装置であって、

前記サービスでの一連の処理において、前記提供装置から前記サービスの開始を指示する開始通知を受信すると、前記管理装置にジョブが存在するか否かを確認する際に用いる確認情報を、暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に定期的に送信し、前記確認情報とは異なる他の情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する通信手段を有することを特徴とする周辺装置。

【請求項 21】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの情報を管理する管理装置と通信可能に接続され、前記ジョブの処理を実行する周辺装置が実行する通信制御方法であって、

前記サービスでの一連の処理において、前記提供装置から前記サービスの開始を指示する開始通知を受信すると、前記管理装置にジョブが存在するか否かを確認する際に用いる確認情報を、暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に定期的に送信する工程と、

前記サービスでの一連の処理において、前記確認情報とは異なる他の情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する工程と、を含むことを特徴とする通信制御方法。

【請求項 22】

ネットワークを介して提供装置により提供されるサービスにおけるジョブの情報を管理する管理装置と通信可能に接続され、前記ジョブの処理を実行するコンピュータを、

前記サービスでの一連の処理において、前記提供装置から前記サービスの開始を指示する開始通知を受信すると、前記管理装置にジョブが存在するか否かを確認する際に用いる確認情報を、暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に定期的に送信し、前記確認情報とは異なる他の情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する通信手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで、本発明は、管理装置と通信可能に接続された周辺装置であって、前記管理装置に前記周辺装置が取得すべき情報があるか否かを確認する際に用いる確認情報については暗号化を行わない通信方式で前記管理装置に送信し、前記確認情報とは異なる印刷ジョブを取得するための取得情報については暗号化を行う通信方式で前記管理装置に送信する通信手段を有することを特徴とする。